

ボランティアに参加してみて

会社員 久慈 立朗

私は今回の参加を入れると「ビビンの会」も含めて3回ほど参加させていただきました。最初の切っ掛けは、いつもの日常と違う事がしたいという思いからでした。社会人になって、ともすれば仕事先と家の往復作業の日々となり、疲労から、内に籠るようになっておりました。そんな状態から、なんとか抜け出したいと思いボランティアに参加することを思い立ちました。

今までのボランティア経験と言えば、高校生の時に友人の誘いで「あしなが学生募金」の街頭募金演説などをした事はあったのですが、現在30歳を過ぎて、あまり「がつつり」したボランティアには抵抗があり、色々とインターネットを検索してました。そんな中、日韓アジア基金の募集を見つけました。作業的には、大変な感じもしなかったので、気軽に応募してみたというのが正直なところです。



実際に参加した感想は、学生が多いという事でした。特に中学生も自分の意志で参加して

いるのが大変驚きました。中高生との交流は、現在全くないので、接し方に悩みます。自分もおじさんになったのだと痛感させられます。しかし日々の日常生活とは違う時間を過ごしている事には感謝しております。職場での自分の仕事内容としては、1人で取りまとめる事がほとんどなのですが、一つの作業を共同で行う事も、「ぎこちなさ」すら楽しい刺激です。

また、日韓アジア基金のボランティアに参加して、ボランティア活動自体にもっと興味がわいてきました。色々な活動に参加して視野を広げて、困っている人の声を聴きたい、今後自分がどういう生き方をしていけばよいのかを、改めて考えていきたいと思いました。人生の進む方向性を決めるには、年齢的には少々遅いのかもかもしれません。しかし必ずしも遅すぎるという事も無いと思います。

またボランティアがありましたら、誘っていただければ積極的に参加したいと思います。活動を通じて少しでも人のお役に立ちたいと思います。ありがとうございました。